

うさぎの耳

聴くことは社会貢献の第一歩！

第49号（2021年1月1日）
福津市社会福祉協議会内

去年は、コロナ禍一色の年でした。会の活動も多くの制約を受けましたが、昨年からはじめた「10分ふれあいコール」は皆様のご支援のお陰で、ほほえみの唯一の拠り所として存在感を大いに発揮することが出来たようです。厚くお礼申し上げます。

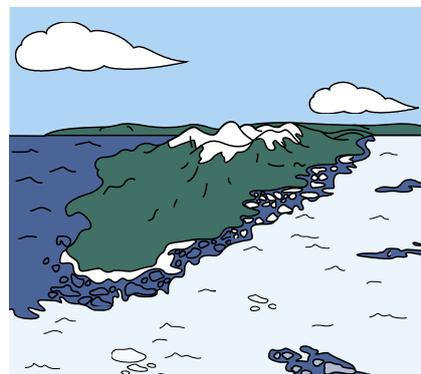
引き続き、厳しい状況が予想されますが会員の皆さんにおかれましては感染防止に留意されると共に更なるご協力をお願いします。

◇ 会からの知らせ

- 1 イオン黄色いレシートキャンペーンは、毎月11日には、レシートを入れるボックスは用意されていますので、その日に買い物された方はレシートを入れるようにして下さい。
- 2 癒しの傾聴カフェは、12月4日（金）9名参加でした。次回は1月8日（金）は、中止しました。また、2月の傾聴カフェも中止します。
- 3 福岡県社協主催の「きずなフェスティバル」が、2021年2月21日（日）春日市クローバプラザで予定されていましたが、中止になりました。

◇ 12月定例会の話題

- 1 ふれあいコール関連
 - ② 11月の件数は28件でしたが、12月8件にととまりました。
 - ② その後、チラシを刷新してシニアクラブや包括支援センターに配布しましたが効果は出ていません。
- 2 在宅傾聴に当たってパーテーションを用意しました。
- 3 ホスピス傾聴依頼について。



4 今年を回顧して、12月定例会に出席の皆さんにお尋ねしましたので掲載します。
以下順不同（要約）

- ・コロナ禍でも正しく恐れることが大事。
- ・富岡先生の講義はよかった、さらにスキルアップしたい。
- ・コロナ禍で何でも中止、しかし前向きに生き、気持ちを上げるように、生活スタイルが変わったようだ。
- ・コロナに罹らないように、日々悔いのないように、健康、食欲が一番。
- ・体調作り、山登り、迷惑がかからないようにしたい。
- ・ふれあいコールの件数が少ないのが心配、増やしたい、このコールで学ぶことも多かった。
- ・思わぬ不具合が連発し、落ち込んでいる、今は元気になった。
- ・入会間もないが、沢山の刺激をもらった。
- ・2月以来傾聴活動ができていない、定例会、傾聴カフェを楽しみにしている。
- ・会の活動が大事、ロールプレイングをしたり、カフェの充実も重要。
- ・腰をいたわるためストックを使って山登りしたが今度は手首を痛めた、同窓会の近況はメールで連絡した、実家の墓の移転を行った。
- ・地域での買い物支援、畑仕事、午後はプール、サウナ、山登りの回数が減った。
- ・新聞投稿記事をうさぎの耳に載せてもらった、今後とも社会の動きに関心を示し、記事のネタを探すようにしたい。
- ・コロナ禍で活動が制約された、入院中の妻とはオンライン通話している、シルバーセンターでの活動を再開した。
- ・母とは面会できないが、確りした生活になるように心掛けている。
- ・知人が数年前まで犬の散歩をしていたが犬を亡くし、そのためか高血圧に伴う脳血管を煩った。散歩の重要性を知り速歩を心掛けている。
- ・ホスピス傾聴は、多くの人に学んでもらいたい。
- ・孫達との会話が上手く行っている、傾聴効果？
- ・高齢になり、子供達も来ないため、周りの人への甘えが多くなったようだ。

◇ 会員の広場

その日まで

小西 陽子会員

私にはホームに、95歳になる母がいます。スタッフの人のお世話を受けながら暮らしています。去年はコロナの影響で4ヶ月ぶりに面会に行くとスタッフの人に車椅子を押ししてもらい、面会室で約15分一緒にすごしました。以前と同じくずっと目を閉じたままです。ゆっくりと話しかけても反応ありませんが、元気な姿を見ることが出来て安心しました。感染予防のためゴム手袋をつけて後ろに回り、軽く触るように頭、肩、腕、足をマッサージし、最後に手を握るといつものように強く握り返してくれました。久しぶりに唯一のコミュニケーションである母のぬくもりを感じる事が出来ました。

コロナの感染拡大で再度、面会禁止になり、一ヶ月が過ぎました。高齢なため体調が一番気がかりですが、一日の終わりには“ホームから連絡がなかったこと”を有り難く受け入れることにしました。私自身“感染に気を緩めずに今日一日を過ごしていきたい”と思い新たにしました。今なお続くコロナが収束し、一日でも早く面会が出来る日を願うばかりです。